

石川県における平成17年中の災害及び火災・救急の状況（速報）について

県内における平成17年（1月～12月）の災害及び火災・救急の状況について、各市町及び消防本部からの報告に基づき、以下のとおりとりまとめた。

1. 災害件数及び被害状況について

平成17年中の災害件数は18件で、前年（22件）に比べ4件の減少であった。

また、平成17年中の災害による被害としては、死者4人（前年比：4人増）負傷者17人（前年比：24人減）住家一部損壊6棟（前年比：66棟減）住家床上浸水6棟（前年比：20棟減）住家床下浸水109棟（前年比：113棟減）非住家被害20棟（前年比：175棟減）農林・土木等の被害総額72億8,199万円（前年比：34億7,761万円減）であった。

《災害件数・被害の状況》

区 分	災 害 件 数 (件)	人 的 被 害		住 家 被 害					非住家 被 害 (棟)	被害総額 (農林・土木等) (千円)
		死 者 (人)	負傷者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)		
平成17年	18	4	17	0	0	6	6	109	20	7,281,991
平成16年	22	0	41	1	0	72	26	222	195	10,759,604
増 減	4	4	24	1	-	66	20	113	175	3,477,613

なお、災害による主な被害の状況は以下のとおりである。

- ・ 1月31日から2月2日までの大雪により、内浦町で死者1人が発生した。
- ・ 6月27日から7月1日の梅雨前線豪雨により、人的被害は無かったが、輪島市、かほく市、津幡町、能登町で床下浸水13棟が発生した。
- ・ 7月11日から7月12日の梅雨前線豪雨により、人的被害は無かったが、七尾市、羽咋市で床上浸水3棟、七尾市、羽咋市、かほく市、志賀町、能登町で床下浸水75棟が発生した。
- ・ 8月15日の豪雨により、人的被害は無かったが、金沢市で床下浸水5棟が発生した。
- ・ 9月7日に本県に接近した台風第14号により、金沢市、輪島市、志賀町で負傷者5人、金沢市、中能登町で強風による住家被害2棟が発生した。
- ・ 12月4日、5日に発生した暴風波浪により、人的被害は無かったが、能美市で

突風による住家被害 1 棟、能登町で床上浸水 2 棟、床下浸水 8 棟が発生した。

- ・ 1 2 月 1 4 日からの大雪により、津幡町、白山市、能登町で死者 3 人、金沢市、輪島市、白山市、穴水町で負傷者 1 2 人、住家被害は内灘町、津幡町で一部損壊 3 棟、金沢市で床上浸水 1 棟、床下浸水 6 棟が発生した。

過去 1 0 年間の災害件数・被害の状況

区 分	災 害 件 数 (件)	人 的 被 害		住 家 被 害					非住家 被 害 (棟)	被 害 総 額 (農林・土木等) (千円)
		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一 部 損 壊 (棟)	床 上 浸 水 (棟)	床 下 浸 水 (棟)		
平成17年	18	4	17			6	6	109	20	7,281,991
平成16年	22		41	1		72	26	222	195	10,759,604
平成15年	16					8	3	118	13	1,901,388
平成14年	32		2		1	20	8	204	97	7,424,616
平成13年	24	1	128		1	78		43	73	5,603,602
平成12年	16		2			3		33	8	3,565,207
平成11年	21	1	2			21	18	564	5	6,792,048
平成10年	21	1	8	3	10	23	302	2,154	21	31,747,744
平成 9 年	13		1			5	1	91	48	7,997,355
平成 8 年	13		2		4	5	45	133	30	7,113,603

2. 火災・救急の状況について

(1) 火災の状況について

平成17年中の火災は、出火件数358件（前年比：1件増）、建物焼損棟数306棟（前年比：11棟減）、り災世帯数218世帯（前年比：24世帯増）、り災人員615人（前年比：35人増）、死者21人（前年比：12人増）、負傷者52人（前年比：8人増）、損害額7億5,048万円（前年比：9,998万円減）、建物焼損床面積11,249㎡（前年比：859㎡減）、林野焼損面積136a（前年比：183a減）であった。

出火件数について

平成17年中の出火件数は358件と、前年より1件増加した。火災種別では、建物火災が225件と最も多く、全体の62.8%をしめている。

（単位：件）

区分	平成 8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
建 物 (うち住宅)	246 (130)	228 (132)	205 (109)	226 (130)	217 (90)	228 (105)	246 (138)	197 (109)	232 (121)	225 (136)
林 野	48	34	21	24	33	57	34	34	20	19
車 両	61	43	51	69	68	48	56	55	37	55
船 舶	2	2	4	1	1	2	0	2	0	1
その他	63	58	46	59	105	79	82	68	68	58
合 計	420	365	327	379	424	414	418	356	357	358

死傷者について

平成17年中の火災による死者は21人と、前年より12人増加した。また、負傷者は52名と8名増加した。

（単位：人）

区分	平成 8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
死 者 (うち住宅)	12 (7)	7 (2)	28 (8)	17 (5)	18 (6)	20 (8)	14 (7)	21 (10)	9 (8)	21 (11)
負傷者	56	53	52	52	51	45	61	45	44	52

放火自殺者等は含まない。

出火原因について

平成17年中の出火件数358件のうち、「こんろ」によるものが42件で最も多く、次いで「放火（放火の疑い含む）」が38件、「ストーブ」が31件、「たき火」が29件、「たばこ」が28件であった。

〔参考〕

近年の住宅火災による死者数の急増に対処するため、平成16年6月に消防法が一部改正され、全ての住宅に住宅用防災（火災）警報器の設置が義務化された。

このため、新築住宅については、消防法により平成18年6月1日から、既存住宅については、県内市町の火災予防条例により、平成20年5月31日までに、住宅用の火災警報器の設置が必要となっている。

(2)救急の状況について

平成17年中の救急出場件数は33,675件（前年比：1,131件増）
搬送人員32,279人（前年比：1,095人増）であった。

このことは、県内で1日平均92.3件（前年比：3.1件増）15分36秒（前年比：33秒減）に1件の割合で救急隊が出場したこととなり、県民37人（前年比：1人減）に1人が救急車で搬送されたことになる。

なお、救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、第1位がいずれも「急病」であり、以下、救急出動件数では、一般負傷、交通、搬送人員では、交通、一般負傷であった。

（単位：件（出場件数）人（搬送人員））

区分	平成 8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
出場件数	22,431	22,345	23,717	25,684	27,331	28,373	28,992	31,172	32,544	33,675
搬送人員	22,006	21,852	23,090	25,051	26,643	27,557	27,991	29,969	31,184	32,279